

自治連だより

NO. 226

安全・安心・住みよい
地域づくりのため



●発行日 令和5年3月1日
●発行 斜里町自治会連合会
〒099-4192 斜里町本町12番地
斜里町役場内
☎0152-23-3131 内線141
不在日：土・日・月・祝日

連合会

自治会長・総務部長及び連合会理事研修会

研修会内容

- ・町からの説明
「粗大ごみに関するお知らせとお願い」について
「協働によるまちづくり推進事業」について
「地域担当職員制度」について
- ・研修1 講演
- ・連合会からの説明
青少健の活動について（児童福祉部会）
自治会役員及び班別世帯名簿の調査について（事務局）
道町連助成金制度について（事務局）
自治会活動保険について（事務局）
- ・研修2 ワークショップ（内容は来月号で掲載します）



研修1 講演

テーマ ～住み慣れた地域で安心して生活するために欠かせない～「斜里町国保病院の今と取り組みについて」

講師 斜里町国保病院 院長 菊一雅弘様

□昨年10月に開院から61周年を迎えた斜里町国保病院の菊一院長から、まず社会保障制度の変遷についてお話をいただきました。2025年に団塊の世代が75歳以上となり、医療・介護需要の最大化となる中、医療のあり方は住み慣れた地域や自宅での生活を支える医療に重点がおかれ、斜里町国保病院が町民にとってなくてはならない病院であり続けるための改革についてお話をいただきました。また、新型コロナウイルス感染症オミクロン株について、インフルエンザとの違いとして感染した場合の無症状率など、分かりやすく説明をしていただきました。

2019年9月厚生労働省は全国の公立・公的病院の再編統合案を示しました。全国424の病院が実名で公表。この中にわが国保病院も含まれました。この再編統合案は、近い将来の医療、介護ニーズの急増（2025年問題）に限られた人的、財政的資源で対応し克服するための指針である「地域医療構想」に基づきます。「地域医療構想」に則らねばならないものの地理上、都市部までの距離感、移動の不便を考慮すれば統廃合は到底受け入れられません。そこで、求められる病床機能と病床数をより適正化し、次のような病院として生き残る戦略をとることになりました。「いつ病気になっても緊急時の受け入れをします。出産や手術、高度集中医療が必要と判断される場合には、その安全性を担保するため網走・北見まで転院していただきます。治療が終了し容態が安定すればリハビリ、その後の生活復帰、療養環境の整備を行うため速やかに当院へ再転院してください。介護が必要となっても最後まで安心して暮らせるよう支えます。在宅療養も選択肢としてあります。病気にかからぬよう知恵をお伝えし、早期発見できるよう定期的に健康診断を受けていただく機会を提供します。」（研修会資料より一部抜粋） 質疑応答は➡

質疑応答

○高齢者の自動車運転免許更新時検査の結果によっては、脳神経外科を受診して您可能と言われることがあると聞きます。斜里町は漁業・農業に従事している人が多く、繁忙期に網走や北見の病院へ家族が連れていくことが難しい場合もあります。国保病院で診ていただくことは可能ですか？

●土田医師が認知症外来を行っています。診察の結果、詳しく検査しなければならない場合、国保病院にはCTはあるがMRIの設備がないため、網走まで行っていただくかなければいけない場合もあります。まずは国保病院に来ていただいて認知機能を検査しCTを診て関連となる原因がないかを調べた上で、もう少し調べた方がよいかをお知らせしたいと思います。

広報展開催のお知らせ

広報展を開催する予定です。内容は令和4年度の単位自治会広報(通信)・自治連だより・連合会3部会活動内容、令和4年度で廃止された女性部会最後の総会の写真などを予定しています。お時間がありましたら、どうぞお立ち寄りください。

▼開催期間：3月30日(水)～4月5日(火)

▼開催場所：ゆめホール知床 ロビー



環境衛生 部会

花いっぱい運動

花だん紹介



▲望岳自治会



▲越川自治会



□花いっぱい運動にたくさんの自治会より協賛いただき、ありがとうございました。令和5年度の花苗申込みも無事に終わることができました。今年の夏も、斜里町がまた美しい花でいっぱいになることを楽しみにしています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

◀若葉会老人クラブ(斜里町全域を対象とした人員で構成している老人クラブ)銀座ポケットパークにて花だん活動を行っています。

